

ガスロックと対処法について

ダイヤフラム式ポンプの構造上、主に次亜塩素酸ナトリウムのような発泡性のある液体を移送すると、**ポンプ内部にエアが溜まり、液体を送れなくなってしまう「ガスロック」と呼ばれる現象が発生**することがあります。

ガスロックは、次亜塩素酸ナトリウムが気化しやすい夏場や、薬液タンクに液体が入ったまま長期間放置し、気泡が多く溜まった状態でポンプを運転した際に、よく発生します。

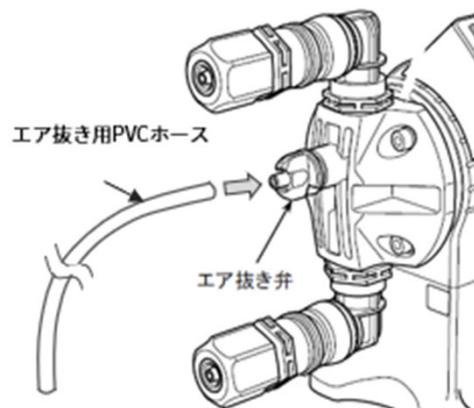


ガスロックが発生した場合・・・

【手順①】

エア抜き弁（白いツマミ）に、付属のエア抜き用PVCホースを接続します。ホースの先端は、別の容器などで受けます。

※ホースの先端は液の中に浸らないようにしてください。



【手順②】

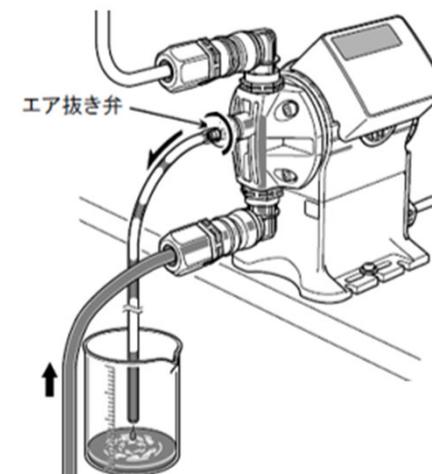
ポンプを運転させ、エア抜き弁を反時計回りに180度、ストッパで止まるまで回転させます。エア抜き弁から、エアが液と共に排出され、内部が液で満たされます。



【手順③】

液が正常に吐出されることを確認したら、エア抜き弁を時計回りに確実に締めます。

※エア抜きホースを外す際、薬液に触れないようご注意ください



薬液を取り扱う際は、安全のためゴム手袋と保護マスクおよび保護メガネを着用してください。